



東桜谷80年の歴史をひもとく一冊が完成
東桜谷郷土史研究会



▲「長年の努力の結晶です」「息子や孫たちに伝えていきたい」など、本には皆さんの思いが込められています

●東桜谷昭和平成史
完成にいたるまで

昭和62年6月、「東桜谷郷土史研究会」(堀江勇夫会長・会員27名)は、町内外の歴史を学ぶため、発足しました。その中で、郷土の歴史を記し遺すことの大切さを感じ、昭和59年に発刊された「東桜谷志」の姉妹編として、歴史書の編さんに取り組むこととされました。

当初は、地区公民館の運営組織として、歴史文化を発信する役割を担われていましたが、編さんを進める中で、独自の活動に切り替えざるを得なくなり、得知文雄(とくちぶんゆう)さんを

編集長として、編さん事業と同時進行で資金面のやりくりなども行う中、7年かけてこのほど完成しました。

●歴史と思いが詰まった一冊

大字の由来や各字の年中行事、行政、農業、戦争体験など、東桜谷の歴史が細やかに記されています。昭和元年から平成15年までの「東桜谷の出来事」は、1年を1ページにつづられ、日野町・国内外の出来事とともに比較しながら楽しむことができます。また、懐かしさに心温まる恩師の言葉も掲載されています。本の構成は、会員の皆さんそれぞれの得意分野が生かされ

れたもので、個人への聞き取り調査や旧村役場の資料などからの情報収集、執筆、文章のデータ化など、会員の方が手分けして行われました。会議を積み重ね、出版までに要した時間は皆さんの努力の証です。完成した本には、この事業に携わった皆さんの郷土を愛する思いがいっぱいこもっています。

●東桜谷の歴史を後世へ

「温故知新」は大切なこと。この本が地域づくりのよいどころになれば」と滋賀県レイカディア大学で地域文化を学ばれた経験を持つ堀江会長。会員皆さんの「東桜谷の歴史を次の世代に遺していきたい」という思いは、この本とともに、後世へとつながっていくことでしょう。

本の購入については、各地区公民館等に設置されている申し込みチラシをご覧ください。



▲表紙は川原の満開の桜。「東桜谷志」とともに地域の大切な一冊に

近江日野商人館

おかげさまで開館30周年

「近江日野商人館」は、昭和56年10月に、日野商人・山中兵右衛門家の本宅を町に寄贈していただき、歴史民俗資料館としてスタートし、今年で30周年を迎えました。

10月15日(土)～11月6日(日)の記念事業期間中、「三十年のあゆみ展」やセピア色の日野町「100枚の古写真展」など歴史を振り返る展示や「歴史講座」などが行われました。10月16日(日)は、「折形教室」や鐘社中と西大路公民館茶道クラブによるお手前の披露がされ、一日で約200人もの来場者が訪れました。

寄付をいただきありがとうございます

このたび30周年を祝って、近江日野商人館の建物を寄贈してくださった山中兵右衛門家の現当主の山中利之さんから金一封を寄付していただきました。今回の記念事業に活用させていただきます。ありがとうございます。

①贈答品などの包み方などを学ぶ「折形教室」。静岡県から近藤由美先生をお招きして開催



②商人館の中庭にお茶席が設けられ、秋空のもと、抹茶とモミジが描かれたお菓子を堪能されました



③町の歴史を振り返る懐かしい写真を展示